

Title	地域を引っ張るMOT人材を育てる - いしかわ MOTスクールといしかわMOTシンジケート -
Author(s)	
Citation	JAIST社会イノベーション・シリーズ, 7
Issue Date	2008-03
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/4859
Rights	
Description	

JAIST
SOCIAL
INNOVATION
SERIES

社会イノベーション・シリーズ 7

地域を引っ張る
MOT人材を育てる

— いしかわMOTスクールと
いしかわMOTシンジケート —



今、石川の企業に「やるぞ君」がどんどん増えています。その中心には、「いしかわMOTスクール」「いしかわMOTシンジケート」があります。技術経営(MOT)は企業経営の根幹です。企業や行政において、MOT人材を育成しMOT改革を推進していくことが、地域を活性化させるひとつの鍵といわれています。JAISTは(株)石川県IT総合人材育成センターとの緊密な連携のもと、「いしかわMOTスクール」を開講しています。さらに「いしかわMOTスクール」の修了生らで組織する「いしかわMOTシンジケート」のメンバーは、企業や行政の中でさまざまな革新を起こし、その波は地域全体に及んでいます。

いしかわMOTスクールとは

JAISTでは、能美市キャンパスならびに東京・田町キャンパスでMOTコースを実施してきましたが、平成16年10月より、地域の産業界を担う人材育成を目的に、社会人を対象にした「いしかわMOTスクール」を(株)石川県IT総合人材育成センターで開講しています。MOTスクールは、知識科学研究科、マテリアルサイエンス研究科と連携した講座編成となっており、研究開発マネジメント、産学連携マネジメントなど技術戦略や知識経営論、MOT改革実践論など演習も取り入れた講義を実施するほか、バイオサイエンスやナノテクノロジーなどJAISTの最先端の研究成果を学ぶ講義も行います。また本コースは、JAISTの「統合科学技術コース」の入門コースとして位置付けられています。講義は、JAIST金沢サテライトキャンパス(金沢市鞍月2丁目1番地・(株)石川県IT総合人材育成センター内)にて、主に土曜日終日、水曜日夜間に行います。詳細は(株)石川県IT総合人材育成センターのホームページをご覧ください。

■特徴

- ・知識経営を基盤に理論の学習と実践を行う
- ・先端科学技術の基礎知識を習得する
- ・MOT先端事例について学習する
- ・受講生企業MOT改革課題解決の戦略策定を行う
- ・短期間(6ヶ月)で集中的に行う
- ・講座終了後、課題レポート、提案資料等の提出が義務付けられる
- ・派遣企業の役員又は部門長をメンターとして登録し、スクールとメンターが緊密に連携して人材育成を行う
- ・課題研究ゼミを実施する

■受講対象

- ・新製品開発型企業、製造業等の研究開発、技術部門等のマネジャー及びマネジャー候補
- ・業務経験3年以上
- ・30歳以上

■カリキュラム

- 【知識科学研究コース】
戦略的技術マネジメント論/MOT改革実践論/知識経営論
研究開発マネジメント論/システム科学方法論
- 【マテリアルサイエンス研究コース】
ナノ構造制御と機能材料/先端ナノマテリアルからデバイスへ
バイオサイエンスからライフケアへ
- 【共通科目(選択科目)】
学際コミュニケーション論/ロジカルシンキング
地域再生システム論/技術経営入門

(株)石川県IT総合人材育成センターのホームページ
<http://www.ishikawa-sc.co.jp/index2.html>

今後の展望

いしかわMOTシンジケートは平成20年度で4年目に突入します。この間、県内にもMOT仲間が増え、MOTを通じた地域内連携、さらに地域間連携の進化がさらに期待されます。

今年6月にはJMAC:日本能率協会コンサルティングのRD大会(開発・技術マネジメント革新大会)でいしかわMOTシンジケートの発表を行うことが決まっており、全国区モデルを目指した取り組みが始まっています。



2007年1月の第6回シンジケートセミナーでは、「IMSやるぞ改革実践活動」と題し、RD大会に向けて学びを深めた。

JAIST 社会イノベーション・シリーズ No.7

発行 2008年3月

発行所 国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学・科学技術開発戦略センター
〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 知識科学研究科棟II7階

■本誌に関するご意見、お問い合わせ

TEL:0761-51-1839 FAX:0761-51-1767 E-mail:coe-secr@jaist.ac.jp

本誌は、文部科学省21世紀COEプログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」の助成を得て発行しております。

